

中小児童教育アンケート R2.9 実施



3年生以上で、6月からの学校生活を振り返るアンケート調査を実施しました。感染症・災害・事故対応についての評価は99%の児童が昨年度に引き続きA評価です。「感染症対策」や「命を守る訓練」にしっかり取り組んでいる現れだと思えます(№15・16)。また、「先生は困っていることに対応してくれる」「先生はきちんと褒めてくれる」「先生はよくないことをしたら真剣に叱ってくれる」で昨年度同様約98%の児童がA評価です(№17・18・20)。今年度も担任と強い信頼関係が築かれつつあると考えられます。その一方で、「思いやり・協力・命の大切さなど、道徳でいろいろ学べた」という項目のA評価は約40%程度でした。ABの評価を合わせれば、89%になります(№12)。また、「朝や業間のとき、進んで外で運動(遊び)をした」の項目で、約63%がA評価で、AとBの評価を合わせると約85%となります(№7)。これらの項目に関しては、コロナ禍で「新しい生活様式」になれるとともに絶えず意識して人との距離を取らなければならない状況のため、子どもたちの中で目指す姿に達成していないと感じているからだと思います。国や県、市のガイドラインを踏まえつつ、より教育課程が充実するように工夫していきます。